WAK WAK

発行
代表理事　岡本 茂
〒569　高槻市富田町2丁目 13-8
-0814　ハイツ白菊1F
TEL/FAX　072－693－9005
E-mail:jinken@ba.wakwak.com
URL:http://wak2.jimdo.com

すべての人に居場所と出番がある社会めざして

―2015年度社員(正会員)総会を開催しました！―

３月17日に一般社団法人タウンスペースWAKWAK理事会と社員（正会員）総会を開催し、新年度事業計画・予算案等をそれぞれ承認決議しました。

４年目を迎え、「出会い・つながり・元気を創造する地域福祉」へ事業発展をめざします

社員総会は理事５名・監事１名、社員６名の12名で構成され、岡井すみよ副代表理事の司会で議長・議事録署名人の選出の後、岡本茂代表理事からあいさつ。

ひとりぐらし高齢者、障がい児者、子育て家庭や若者への支援サポート等、福祉と人権を基調とした市民活動の促進を引き続き図っていくとした新年度事業計画、予算案をそれぞれ承認決議しました。

地域支え合い(家事代行支援)事業も今年度　新たにたちあげ予定です

事業計画では、高齢・障がい者世帯のお困りごとを支援する地域支え合い事業の実施に向けたサービス体制を確立し、５月をめどに支援サービスの実施をめざすことも決定しました。

対象地域については、当面、富田富寿栄地域を中心にモデル実施の予定です。

記念イベントご案内

「人権ネットワークからタウンスペースWAKWAK二十周年―全員集合だよ！ありのままで！！」

日時　六月二十日(土)　午前十時～十二時
場所　富田ふれあい文化センター　大ホール

ふりかえり記念スライド(二十年前のなつかしい顔も再発見できるかも)
ミニコンサート&手話うた
つるちゃんの街頭紙芝居　ｅｔｃ

タウンスペースWAKWAKの前身である「子ども・女性・高齢者・障がい者の人権ネットワーク」が産声を上げたのは一九九四年六月。二十年を振り返り、次のステップへとおはなカフェメンバーが中心となって楽しい企画満載のイベントです。

いきがいと居場所づくり事業

障がいのあるないを超えてアートでつながる

ボーダレスアート展「わんだーぼっくす」＆「アートでわくわく！巨大壁画キッズゲルニカをつくろう！」開催

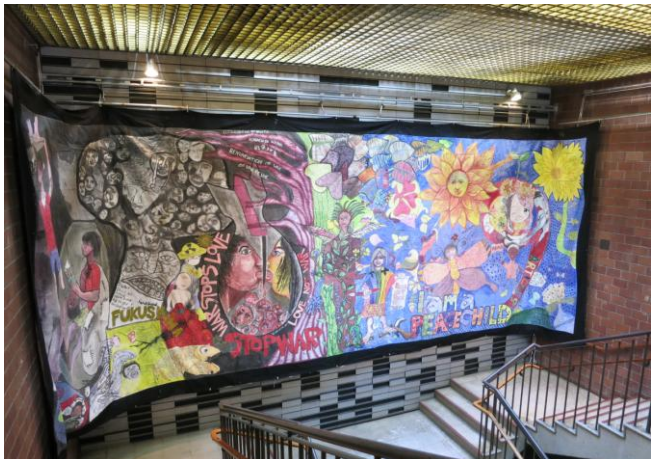
昨年 12 月7日(日)～9日(火)の3日間にわたり、富田ふれあい文化センターでボーダレスアート展「わんだーぼっくす受講生とピックアップアーティスト展」を開催いたしました。

わんだーぼっくす受講生とピックアップアーティスト展

「アート作品展」には期間中２４６名がご参加、濱田剛史市長、一瀬武教育長、井出正夫社会福祉協議会会長らにもご来場いただき、励ましをいただきました。

ボーンフリーゲルニカも特別展示

今年度はインドの子どもたちと福島の子どもたちが共同制作した「ボーンフリーゲルニカ」をフェスタヒューマンライツ開催とあわせて展示。フェスタに参加された３，９００名もの人からも大きな関心が寄せられました。



キッズゲルニカ共同制作にも挑戦

インドのストリートチルドレンや児童労働を余儀なくされている子どもたちを支援している国際 NGO ボーンフリーアートの国内支援組織であるボーンフリーアート JAPAN の協力を得て、キッズゲルニカ制作ワークショップも開催。

延べ３日間、総勢１００名を超える参加者の手で巨大壁画キッズゲルニカが完成し、作品は高槻市ホームページでも紹介されました。

ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」も5月9日(土)から前期開講

月２回土曜日に富田青少年センターで開講している「わんだーぼっくす」も４年目。すばらしいアート作品が次々と生まれてきています。対象は小学生以上、受講のお問い合わせは WAKWAK までご連絡下さい。

女性たちが身近な課題で気軽に集える

「おはなカフェ」続々開催

地域で子育てや高齢者・障がい児者支援・多文化共生などに関わっている女性たちが中心となって企画運営。

１２月のフェスタヒューマンライツでは子どもたちと大人の６６名で手話うたをステージ発表。

２月には、ミニコンサートや CAP プログラムのお勉強、子ども遊び塾も開催されました。

高齢者・障害者・若者支援事業

高齢者・障害者のお困りごとをお助けする

地域支え合い(家事代行支援)サービス実施へ訪問調査を実施

ひとりぐらし高齢者・障がい者への地域における社会的支援の仕組みづくりに向け、富田富寿栄地域の高齢者を対象に高齢者お困りごと訪問聞き取り調査を昨年 11～12 月に実施しました。

孤立防止へ課題が浮き彫り

199 名を対象とした今回の調査では親族や知人・友人との付き合いはあるものの、「週に数回・月に 1・2 回程度」と答えた方が半数を占め、「頼れる人が近くにいない」「話し相手や相談できる人がいない」と不安を感じている方が約 2 割に達するなど課題も明らかになりました。

「こんなことがあったらいい」を支援の形に

利用したいと思うサービスでは「簡単な日曜大工や電球交換」「部屋の模様替えや家具の移動」「電化製品の取り扱い」「書類の記入」「ゴミだし・不用品処分」等が上位をしめました。

実行委員会では社福つながりや NPO 法人ニュースタート事務局関西と連携して事業実施をめざしています。

障がいがあっても地域で暮らし続けられる夜間支援型グループホームづくり

障がい者グループホーム「みるみれ」見学会

社会福祉法人つながり後援会・家族会ひだまりと共に２月に時創福祉会(COCO ハウス)が昨年 5 月に開設したばかりのグループホーム「みるみれ」見学会を実施しました。「みるみれ」はネパール語で「夜明け」を意味する言葉です。

WAKWAK では社福つながりと共に富田地域で 2016 年度からのグループホーム建設をめざして取り組んでいく予定です。

こどものあゆみバックアップ事業

生活困窮家庭の子どもたちをはじめ様々な課題をもつ子どもたちへの学習支援事業

今年も毎週夜２回 学習支援教室「わんぴーす」を開講

生活困窮や発達障がいなどで学校や家庭で孤立しがちな子どもたちにとって安心できる居場所づくりが、学習支援教室「わんぴーす」の目的です。

キリン福祉財団の助成も決定

２年目を迎える今年度も４月８日から定員 10 名でスタート。教職員経験者と大学生の７名が毎回４名体制で学習指導にあたります。

今年度はキリン福祉財団子育て公募事業あらびに高槻市の「市民と行政との協働応援事業」にも採択されました。

2015年度事業計画

1．地域福祉グランドデザインづくり事業を促進します

「富田富寿栄住宅建替基本構想」(2014 年３月)を受け、自治会組織と連携しながら「富田まち・くらしづくりネットワーク」の活性化・再構築と取り組みのみえる化を促進していきます。

2．「すべての人に居場所と出番」がある社会をめざします

ボーダレスアート事業

ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」を引き続き毎月土の２回開催します。

コミュニティスペース事業

「おはなカフェ」事業の充実と知的障がい者通所支援施設サニースポット内の喫茶クローバーの積極的活用の推進を図ります。

3．地域支え合い（ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援）事業を推進します

地域支え合い事業

高齢者・障がい者世帯の困りごと（ニーズ）を集約し、家事代行支援サービス等の新たな仕組みづくりを５月をめどにスタートさせます。

ライフサポート事業

ひとりぐらし高齢者、親亡き後の障がい児者の財産管理や権利擁護のための生活支援・相談事業を行うと共に、市民後見人の活動支援をすすめます。

障がい者グループホーム整備事業

社福つながり・つながり後援会家族会ひだまりと協働で、富田地域での夜間支援対応型グループホーム整備事業を促進します。

4．青少年子育て支援（こどものあゆみバックアップ）事業

子どもたちへの学習支援事業

生活困窮家庭の子どもたちをはじめ様々な課題をもつ子どもたちへの学習支援事業の安定的運営をめざします。また、「生活困窮者自立支援法」に基づく自治体制度化へ向けて「こどもの貧困」をテーマにしたシンポジウム開催等、関係団体との連携協働を促進します。

5．人材（コミュニテイボランティア）育成事業

まちの達人、コミュニティ・ボランティア育成のための研修事業、メディア・リテラシー推進事業にも取り組みます。

会員継続と会費のお願い

賛助会員として広く活動を支援して下さい。正会員は社員として議決権を有します。

正会員　(団体) 1万円　(個人)　5千円
賛助会員　(団体)　1万円　(個人)　 1千円

いずれも年額(１口)です。入会手続き(継続含む)と会費納入は同封の振替用紙をご利用ください。